

統計資料 24-No. 2

平成 17 年基準

島根県鉱工業生産指數年報

平成 23 年版

平成 24 年 6 月

島根県政策企画局統計調査課

島根県鉱工業生産指数は、本県の鉱工業生産活動の動向を迅速かつ的確に把握するための主要な経済指標です。

この報告書は、既に公表した平成23年1月から12月までの毎月の速報値をさかのぼってデータを見直し、全面的に再計算を行うとともに、季節指数を計算し直して確定指数を作成し、平成23年版年報としてとりまとめたものです。

目 次

島根県鉱工業生産指数の説明

1.	鉱工業生産指数とは	2
2.	作成要領	3
3.	業種分類別基準表	5
4.	財分類別基準表	5
5.	業種分類別・採用品目別ウェイト表	6

平成23年島根県鉱工業生産指数の動向

1.	概況	8
2.	業種別生産指数の動向	10

統計表

第1表	島根県鉱工業生産指数 （業種分類別原指数）	14
第2表	〃 （業種分類別季節調整済指数）	16
第3表	〃 （財分類別原指数）	20
第4表	〃 （財分類別季節調整済指数）	21
第5表	全国鉱工業生産指数 （業種分類別原指数）	22
第6表	〃 （業種分類別季節調整済指数）	24

参 考

◎全国指数と地域別指数の関係	26
----------------	----

島根県鉱工業生産指数の説明

1. 鉱工業生産指数とは

県内の工場等で様々な製品が生産されているが、鉱工業生産指数は、その生産活動の水準の推移を表す指標として、県内で生産された各製品の量(付加価値額)を調査し、基準時(平成17年)に対して指数化したものである。

(1) 特徴

鉱工業生産指数は、次のような特徴があり、経済全体の動きをつかむ指標として経済指標の中でも重要なものの一つとなっている。

①鉱工業はその出荷製品の流通等を通じて、卸売業、小売業、運輸業等の経済活動と密接な関連があり経済全体に大きな影響を与えていく。

②鉱工業生産は、景気が悪くなって在庫が積み上がりれば生産を縮小し在庫調整をし、景気がよくなれば将来の需要拡大を見越して生産を拡大するなど、景気に対し敏感に反応する。

③生産状況を月単位で調査し、翌々月に指数を公表するので、経済活動の供給サイドの統計として、速報性がある。

(2) 指数計算に使用するデータ

県内で生産されている主要な製品(採用品目は86品目)を選定し、経済産業省生産動態統計調査、島根県工場生産動態調査等で毎月調査したその生産量をもとに指数を計算している。

調査対象となっている事業所数は、約160である。

島根県鉱工業生産指数

経済産業省生産動態統計調査 生産、出荷、在庫、生産能力等

品目 製鋼・製鋼圧延鋼、固定コンデンサ
装輪式トラクタ、銑鉄鋸物、コンバイン
等

島根県工場生産動態調査等 生産、出荷、在庫

品目 合板、トランスマッショントン、粘土瓦
生コンクリート、水産練製品、シャッター
清酒、緑茶、看板、そろばん 等

(3) 指数の計算

指数は、平成17年の月平均を100.0とした比率で示している。

指数の計算は、各品目の生産活動が県内の鉱工業生産全体に与える影響の大きさ(ウェイト※)を反映するよう、各採用品目の個別指数を加重平均している。

また、公表している指数は、毎月の実績値から計算した「原指数」と景気の動向とは関係なく1年を周期として毎年同じように繰り返される季節変動の影響を取り除いた「季節調整済指数」の2種類を使っている。

※ 本県の業種分類別ウェイト(平成17年基準:全体=10000.0)は、鉄鋼業が2096.1、一般機械工業が1465.3、電子部品・デバイス工業が1270.0で、この3業種で約5割を占め、本県の鉱工業生産指数に大きな影響を与えていく。

2. 作成要領

指数の概要

平成 17 年基準で作成した鉱工業生産指数の分類及び基本的構造は平成 12 年基準の生産指数と同様である。ただし、基準年次改定に伴い、利用の実態、基準年次の産業構造等を考慮し、採用品目の変更、ウェイトの改算、分類の一部変更などを行っている。

(1) 基準時

平成 17 年を基準時とする。したがって、指標値は平成 17 年の月平均を 100.0 とした比率で示し、ウェイトは平成 17 年の産業構造による。

(2) 分類

分類は、日本標準産業分類に準拠した業種分類と、財の用途に着目した特殊分類(財分類)の2種類とする。

業種分類は日本標準産業分類(第 11 回)に準拠している。注意点は以下のとおりである。

- (a) 『電気機械器具製造業』『情報通信機械器具製造業』を統合して「電気機械・情報通信機械工業」とする。
- (b) 『輸送用機械器具製造業』から『船舶製造・修理業』を除いて「輸送機械工業」とする。
- (c) 『繊維工業』及び『衣服その他の繊維製品製造業』並びに『化学工業』に分類されている『化学繊維製造業』を統合して「繊維工業」とし、「化学工業」から『化学繊維製造業』を除く。
- (d) 『食料品製造業』『飲料・たばこ・飼料製造業』を統合して「食料品・たばこ工業」とする。
- (e) 『ゴム製品製造業』『家具・装備品製造業』『木材・木製品製造業』『石油製品・石炭製品製造業』『その他の製造業』を統合して「その他工業」とする。
- (f) 『精密機械器具製造業』『なめし革・同製品・毛皮製造業』『印刷・同関連業』は非採用とした。

(g) 「一般機械工業」「電気機械・情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」及び「輸送機械工業」を統合した「機械工業」を参考系列としている。

(h) 「電気機械・情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」を統合した「電気機械工業(旧分類)」を参考系列としている。

(i) 平成 20 年 4 月より適用された新たな日本標準産業分類(第 12 回改定)への対応として、『生産用機械器具製造業』について、該当の品目から指標値を算出し、「生産用機械工業(新分類)」として参考系列とした。

基本的な業種分類は、次のとおりである。

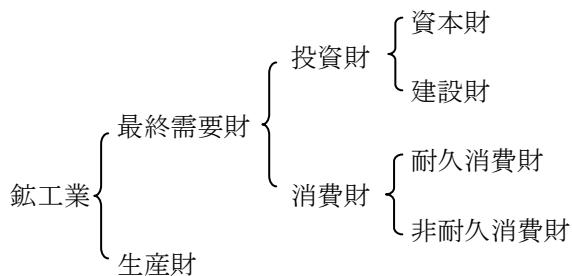
鉱 工 業
製 造 工 業
鐵 鋼 業
非 鉄 金 属 工 業
金 属 製 品 工 業
一 般 機 械 工 業
電 気 機 械 ・ 情 報 通 信 機 械 工 業
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業
輸 送 機 械 工 業
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業
化 学 工 業
塑 料 工 業
化 纖 工 業
繊 維 工 業
食 料 品 ・ た ば こ 工 業
そ の 他 工 業
ゴ ム 製 品 工 業
家 具 工 業
木 材 ・ 木 製 品 工 業
石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業
そ の 他 製 品 工 業
鉱 業

<参考系列>

- 産 業 総 合
- 公 益 事 業 (電力・ガス)
- 機 械 工 業
- 電 气 機 械 工 業 (旧分類)
- 生 产 用 機 械 工 業 (新分類)

財分類は、まず、生産活動に再投入されるものを「生産財」、最終需要に向けられるものを「最終需要財」とする。最終需要財は資本形成に向けられる「投資財」と家計で消費される「消費財」に分類し、さらに、投資財を設備投資に向けられる「資本財」と建設活動に向けられる「建設財」に、消費財を耐久物である「耐久消費財」と非耐久物である「非耐久消費財」に分類する。

基本的な財分類は、次のとおりである。



(3) 採用品目

採用品目は 86 品目(産業総合で 88 品目)で、平成 17 年における付加価値額の大きいものから業種別に代表性、重要性、調査継続の可能性、県内の特殊性を考慮し採用した。

なお、用途が2つ以上の財にまたがる5品目については、基準時の用途別構成でウェイトを分割することにより複数の系列として取り扱っているため、業種分類と財分類では採用品目数が一致しない。

(5. 業種分類別・採用品目別ウェイト表 参照)

(4) ウェイト

ウェイトの算定は、「平成 17 年工業統計調査」を中心に「生産動態統計調査」及び中国経済産業局の資料を基に各業種別のウェイトを算出し、次いで品目別のウェイトを算出した。この際、非採用業種については、製造工業全体に膨らまし(比例配分)を行い、また非採用品目のウェイトは業種ごとの採用品目に膨らましを行った。

(5) 総合指標の算式

算式は、採用品目の個別指標を基準時のウェイトで加重算術平均する基準時固定加重算術平均

法、いわゆるラスパイレス法を使用した。

$$\text{総合指標} = \frac{\left(\frac{\text{比較月の生産数量}}{\text{基準年次の生産数量}} \times \text{ウェイト} \right) \text{の総和}}{\text{ウェイトの総和}}$$

$$\text{品目別指標} = \frac{\text{品目別比較月の数量}}{\text{(原指標)} \quad \text{基準年次の品目別月平均数量}} \times 100$$

(6) 季節調整

毎月の変動は、景気の動向とは関係ない季節的変動が大きな割合を占めるため、景気の実勢を見るためには、これを取り除く必要がある。このため、季節的変動を表す季節指数を作成し、これで原指標を除して季節調整済指標を算定しているが、本県ではセンサス局法(X-12-ARIMA)によっている。

なお、ARIMA MODEL は(0 1 1)(0 1 1)を採用した。

<参考>

鉱工業指数におけるX-12-ARIMAのスペックファイル等について

(1) 手法

鉱工業指数における季節調整済指標系列は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因によつても調整されている。

具体的には、以下のとおり。

季節調整済指標=原指標 ÷ (季節指標 × 曜日・祝祭日指標)

(2) スペックファイル

使用しているスペックファイルの見本は以下のとおり。

なお、レベルシフト、異常値処理などの該当はない。

```

series{ start=2005.1
        span=(2005.1,2011.12)
        decimals=1 }
transform{ function = log }
arima { model=(0 1 1)(0 1 1) }
regression{ variables=td1coef
            save = (td hol)
            user = (jap-hol)
            usertype=holiday
            start=2005.1
            file="xxxxxxxxxxxxxx" }
forecast{maxlead=0}
estimate { save = (mdl) maxiter=500}
x11      { print = (none + d10 +d11 +d16)
            save = (d10 d11 d16)
            seasonalma=x11default }
  
```

(7) 指数の接続

平成 17 年基準指数は平成 15 年 1 月以降について作成している。

平成 12 年基準で作成した平成 14 年以前の指数（「しまね統計情報データベース」(<http://pref.shimane-toukei.jp/>) 参照）については、下記の式によって算出した「リンク係数」を、旧基準の指数に掛けて、新基準の指数に接続できる。ただし、旧基準の指数と新基準の指数では、採用品目及びウェイトが異なるので、おおよその傾向をみるものであることに留意されたい。

リンク係数 =

$$\frac{17 \text{ 年基準季節調整済指数 } 15 \text{ 年 } 1 \text{ 月} \sim 3 \text{ 月平均}}{12 \text{ 年基準季節調整済指数 } 15 \text{ 年 } 1 \text{ 月} \sim 3 \text{ 月平均}}$$

(8) 年間補正

毎月の速報データを 1 月までさかのぼって補正し、平成 23 年の新しい季節指数を算定し直し、年間の季節調整済指数を新しく作成した。

(9) 資料出所

公益事業…中国経済産業局、中国電力株式会

社島根支社

工業製品一般、鉱業

…経済産業省、島根県薬事衛生課、

島根県統計調査課

製材、合板、牛乳、パン、めん、みそ

…中国四国農政局松江地域センター

全国鉱工業生産指数(統計表第 5 表・第 6 表)

…経済産業省

3. 業種分類別基準表

平成 17 年 基 準			
業種分類	ウェイト	品目数	
鉱 工 業	10000.0	86	
製 造 工 業	9970.4	85	
鉄 鋼 業	2096.1	2	
非 鉄 金 属 工 業	160.6	3	
金 属 製 品 工 業	356.2	6	
一 般 機 械 工 業	1465.3	11	
電 気 機 械・情 報 通 信 機 械 工 業	444.3	5	
電 子 部 品・デ バ イ ス 工 業	1270.0	3	
輸 送 機 械 工 業	750.2	9	
窯 業・土 石 製 品 工 業	677.8	8	
化 学 工 業	210.6	2	
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	173.6	5	
パ ル プ・紙・紙 加 工 品 工 業	163.0	3	
織 綿 工 業	448.2	9	
食 料 品・た ば こ 工 業	910.9	10	
そ の 他 工 業	843.6	9	
ゴ ム 製 品 工 業	106.2	1	
家 具 工 業	197.7	2	
木 材・木 製 品 工 業	466.3	2	
石 油・石 炭 製 品 工 業	24.2	1	
そ の 他 製 品 工 業	49.2	3	
鉱 業	29.6	1	

4. 財分類別基準表

平成 17 年 基 準			
財分類	ウェイト	品目数	
鉱 工 業	10000.0	91	
最 終 需 要 財	4498.0	55	
投 資 財	3293.1	35	
資 本 財	1770.7	18	
建 設 財	1522.4	17	
消 費 財	1204.9	20	
耐 久 消 費 財	124.9	3	
非 耐 久 消 費 財	1080.0	17	
生 产 財	5502.0	36	

5. 業種分類別・採用品目別ウェイト表

平成17年基準			
業種名・品目名	財分類	ウェイト	
鉱工業		10000.0	
製造工業		9970.4	
鉄鋼業		2096.1	
製鋼・製鋼圧延鋼	生産財	1826.7	
鋳鉄鋳物	生産財	269.4	
非鉄金属工業		160.6	
精密铸造品(アルミニウム合金・銅合金)	生産財	0.6	
ダイカスト	生産財	77.9	
電線資本財		82.1	
金属製品工業		356.2	
金網	建設財	17.4	
鉄骨	建設財	45.8	
橋りょう	建設財	22.1	
製缶板金資本財		41.6	
スチールドア	建設財	49.9	
シャツタード	建設財	179.4	
一般機械工業		1465.3	
装輪式トラクタ	資本財	350.3	
動力耕耘機	資本財	77.3	
田植機	資本財	182.0	
コンバイン	資本財	245.1	
歯切り盤及び歯車仕上げ機械	資本財	42.8	
包装・荷造機械	資本財	139.1	
工業用ミシン	資本財	56.8	
その他の事務機械	資本財	62.4	
冷凍機応用製品	資本財	162.2	
産業用ロボット	資本財	128.9	
変速機	資本財	18.4	
電気機械・情報通信機械工業		444.3	
開閉制御装置	生産財	232.2	
医療用電子応用装置	資本財	0.8	
内燃機関電装品部品	資本財	61.7	
汎用インバータ	資本財	20.2	
パソコン用コンピュータ	資本財	129.4	
電子部品・デバイス工業		1270.0	
半導体素子	生産財	8.6	
固定コンデンサ	生産財	1226.7	
太陽電池セル	生産財	34.7	
輸送機械工業		750.2	
オイルシール	生産財	194.3	
その他の自動車部品	生産財	28.1	
トランスマッショングループ	生産財	326.5	
自動車部品(エンジン部品)	生産財	51.8	

平成17年基準			
業種名・品目名	財分類	ウェイト	
車両用クラッチ部品	生産財	17.5	
シャシ・車体部品	生産財	51.2	
懸架制動部品	生産財	28.2	
自動車プラスチック部品	生産財	3.0	
車輪	生産財	49.6	
窯業・土石製品工業		677.8	
陶磁器	非耐久消費財	6.9	
粘土瓦	建設財	293.9	
せつこうボーデ	建設財	36.4	
遠心力鉄筋コンクリート管	建設財	2.2	
護岸用コンクリートブロック	建設財	12.3	
道路用コンクリート製品	建設財	37.6	
プレストレスコンクリート製品	建設財	31.4	
生コンクリート	建設財	257.1	
化学工業		210.6	
医薬品	非耐久消費財	58.4	
工業用化学製品	生産財	152.2	
プラスチック製品工業		173.6	
合成皮革	生産財	51.7	
プラスチック製電気通信用部品	生産財	16.7	
プラスチック製機械器具用部品	生産財	11.3	
プラスチックシート	生産財	39.6	
プラスチックフィルム	生産財	54.3	
パルプ・紙・紙加工品工業		163.0	
雑種紙	生産財	1.0	
手帳・アルバムファイル	非耐久消費財	103.2	
溶解パルプ	生産財	58.8	
織維工業		448.2	
ビスコース短纖維	生産財	234.9	
綿糸	生産財	29.2	
化學纖維紡績糸	生産財	24.1	
綿織物	生産財	43.5	
合成纖維織物	生産財	9.8	
ニット製外衣	非耐久消費財	18.1	
ニット製下着	非耐久消費財	37.7	
織物製外衣	非耐久消費財	37.0	
織物製補正着	非耐久消費財	13.9	
食料品・たばこ工業		910.9	
しょう油	非30%生70%	59.3	
飲用牛乳	非耐久消費財	62.4	
緑茶	非耐久消費財	137.0	
水産練製品	非耐久消費財	243.8	
清酒	非65%生35%	157.3	

平成17年基準		
業種名・品目名	財分類	ウェイト
パ ン	非耐久消費財	32.5
め ん	非75%生25%	38.0
み そ	非耐久消費財	6.3
す し 、 弁 当	非耐久消費財	57.9
その他の製造食料品	非耐久消費財	116.4
そ の 他 工 業		843.6
ゴ ム 製 品 工 業		106.2
工 業 用 ゴ ム 製 品	生 产 財	106.2
家 具 工 業		197.7
建 具	建 設 財	143.8
金 属 製 家 具	耐 久 消 費 財	53.9
木 材 ・ 木 製 品 工 業		466.3
製 材	建 設 財	113.1
合 板	建70%生30%	353.2
石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業		24.2
アスファルト舗装混合材	建 設 財	24.2
そ の 他 製 品 工 業		49.2
そ ろ ば ん	耐 久 消 費 財	6.3
看 板	資 本 財	34.3
畳 ・ 畳 床	建 設 財	8.6
鉱 け い 砂	生 产 財	29.6
公 益 事 業 (電 力 ・ ガ 斯)		3581.4
電 力		3578.4
ガ 斯		3.0

<参考>

生産用機械工業(新分類)に採用した品目(再掲)

平成17年基準		
業種名・品目名	財分類	ウェイト
生 产 用 機 械 工 業		1222.3
装 輪 式 ト ラ ク タ	資 本 財	350.3
動 力 耕 耘 機	資 本 財	77.3
田 植 機	資 本 財	182.0
コ ン バ イ ン	資 本 財	245.1
歯切り盤及び歯車仕上げ機械	資 本 財	42.8
包 裝 ・ 荷 造 機 械	資 本 財	139.1
工 業 用 ミ シ ン	資 本 財	56.8
産 業 用 ロ ボ ッ ト	資 本 財	128.9

平成23年島根県鉱工業生産指数の動向

1. 概況

平成23年の鉱工業生産指数（原指数）の年平均は94.0（平成17年=100）となり、対前年比▲0.4%の低下であった。（表1）

1) 業種別(原指数)年平均

前年よりも上昇した業種は、金属製品工業(83.3、対前年比7.1%)、化学工業(167.9、対前年比4.7%)、食料品・たばこ工業(82.1、対前年比3.8%)など8業種、一方で前年よりも低下した業種は、鉱業(57.1、対前年比▲19.6%)、一般機械工業(64.3、対前年比▲10.2%)、輸送機械工業(108.6、対前年比▲8.6%)の7業種であった。（表1、図1）

2) 財別(原指数)年平均

前年よりも上昇したのは、消費財(85.3、対前年比4.4%)、生産財(109.8、対前年比0.2%)であり、低下したのは、投資財(70.7、対前年比▲4.1%)であった。（表1）

3) 財別(季節調整済)四半期別

投資財は、1～3月期(Ⅰ)は低下、4～6月期(Ⅱ)は上昇、7～9月期(Ⅲ)は低下、10～12月期(Ⅳ)は上昇した。消費財は、1～3月期以降3期連続で上昇、10～12月期は低下した。生産財は、1～3月期は上昇、4～6月期以降は3期連続で低下した。（図2）

4) 寄与度

一般機械工業、輸送機械工業などで低下に関わる寄与度が高かった。（表1、図1）

5) 鉱工業生産指数の動向と全国との比較

島根県と全国の年平均(原指数)を比較すると、全国は前年の94.4から92.2と▲2.3%低下、島根県では94.4から94.0と▲0.4%低下した。（統計表 第1表、第5表）

四半期別(季節調整済)にみると、全国は平成22年7～9月期以降4期連続で低下、7～9月期、10～12月期は上昇した。島根県は1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。（図3、統計表 第2表、第6表）

表1 業種別財別生産指数、対前年比、寄与度

産業	ウェイト	生産指数(原指数)				対前年比(%)				寄与度(%)				
		20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	
業別	鉱工業	10,000.0	98.4	77.3	94.4	94.0	▲6.5	▲21.4	22.1	▲0.4	▲6.5	▲21.4	22.1	▲0.4
	製造工業	9,970.4	98.4	77.4	94.5	94.1	▲6.5	▲21.3	22.1	▲0.4	▲6.5	▲21.2	22.0	▲0.4
	鉄鋼業	2,096.1	97.9	53.7	78.8	80.4	1.8	▲45.1	46.7	2.0	0.3	▲9.4	6.8	0.3
	非鉄金属工業	160.6	92.7	65.3	85.0	87.0	1.9	▲29.6	30.2	2.4	0.0	▲0.4	0.4	0.0
	金属製品工業	356.2	97.6	76.8	77.8	83.3	▲8.2	▲21.3	1.3	7.1	▲0.3	▲0.7	0.0	0.2
	一般機械工業	1,465.3	87.0	66.1	71.6	64.3	▲6.1	▲24.0	8.3	▲10.2	▲0.8	▲3.1	1.0	▲1.1
	電気機械・情報通信機械工業	444.3	135.6	76.1	100.8	95.7	6.6	▲43.9	32.5	▲5.1	0.4	▲2.7	1.4	▲0.2
	電子部品・デバイス工業	1,270.0	106.7	110.0	158.6	164.5	▲22.9	3.1	44.2	3.7	▲3.8	0.4	8.0	0.7
	輸送機械工業	750.2	119.8	92.7	118.8	108.6	2.6	▲22.6	28.2	▲8.6	0.2	▲2.1	2.5	▲0.8
	窯業・土石製品工業	677.8	75.5	68.7	62.5	61.1	▲4.9	▲9.0	▲9.0	▲2.2	▲0.3	▲0.5	▲0.6	▲0.1
	化学生工業	210.6	112.5	111.4	160.3	167.9	▲19.1	▲1.0	43.9	4.7	▲0.5	0.0	1.3	0.2
	プラスチック製品工業	173.6	99.5	84.9	103.7	105.0	0.7	▲14.7	22.1	1.3	0.0	▲0.3	0.4	0.0
	パルプ・紙・紙加工品工業	163.0	86.1	71.9	77.0	73.4	2.1	▲16.5	7.1	▲4.7	0.0	▲0.2	0.1	▲0.1
	織維工業	448.2	90.6	83.0	77.8	80.3	▲11.1	▲8.4	▲6.3	3.2	▲0.5	▲0.3	▲0.3	0.1
	食料品・たばこ工業	910.9	92.5	84.9	79.1	82.1	▲2.1	▲8.2	▲6.8	3.8	▲0.2	▲0.7	▲0.7	0.3
	その他工業	843.6	97.6	83.3	97.0	96.2	▲11.8	▲14.7	16.4	▲0.8	▲1.0	▲1.2	1.5	▲0.1
	鉱業	29.6	108.1	65.4	71.0	57.1	▲7.2	▲39.5	8.6	▲19.6	0.0	▲0.1	0.0	0.0
財別	最終需 要 財	4,498.0	87.5	73.8	75.8	74.6	▲6.4	▲15.7	2.7	▲1.6	▲2.6	▲6.2	1.2	▲0.5
	投資資本財	3,293.1	86.3	70.3	73.7	70.7	▲7.6	▲18.5	4.8	▲4.1	▲2.2	▲5.4	1.4	▲1.0
	資本財	1,770.7	87.5	67.4	73.2	66.6	▲6.9	▲23.0	8.6	▲9.0	▲1.1	▲3.6	1.3	▲1.2
	建設財	1,522.4	84.9	73.7	74.3	75.4	▲8.4	▲13.2	0.8	1.5	▲1.1	▲1.7	0.1	0.2
	消費財	1,204.9	90.6	83.4	81.7	85.3	▲3.5	▲7.9	▲2.0	4.4	▲0.4	▲0.9	▲0.3	0.4
	耐久消費財	124.9	94.1	77.9	80.0	73.8	▲10.0	▲17.2	2.7	▲7.8	▲0.1	▲0.2	0.0	▲0.1
	非耐久消費財	1,080.0	90.2	84.0	81.8	86.7	▲2.6	▲6.9	▲2.6	6.0	▲0.2	▲0.7	▲0.3	0.5
	生産財	5,502.0	107.4	80.2	109.6	109.8	▲6.4	▲25.3	36.7	0.2	▲3.9	▲15.2	20.9	0.1

寄与度 = {(本年の当該業種の生産指数 - 前年の当該業種の生産指数) × (当該業種のウェイト ÷ 10,000.0)} ÷ 前年の生産指数 × 100

図1. 平成23年業種別生産指数の対前年比及び寄与度 原指数

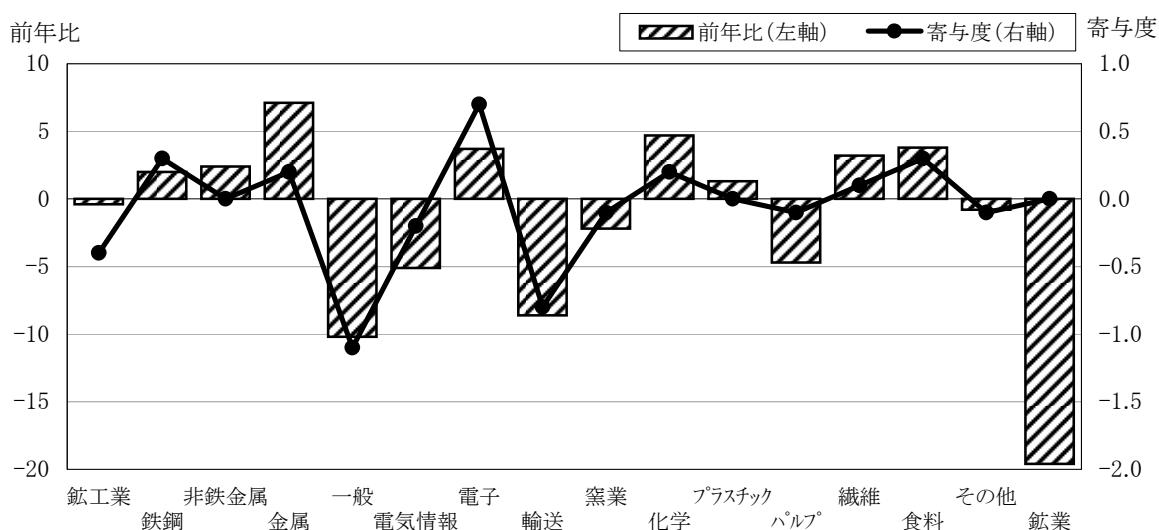


図2. 鉱工業生産指数の推移(財別) 季節調整済

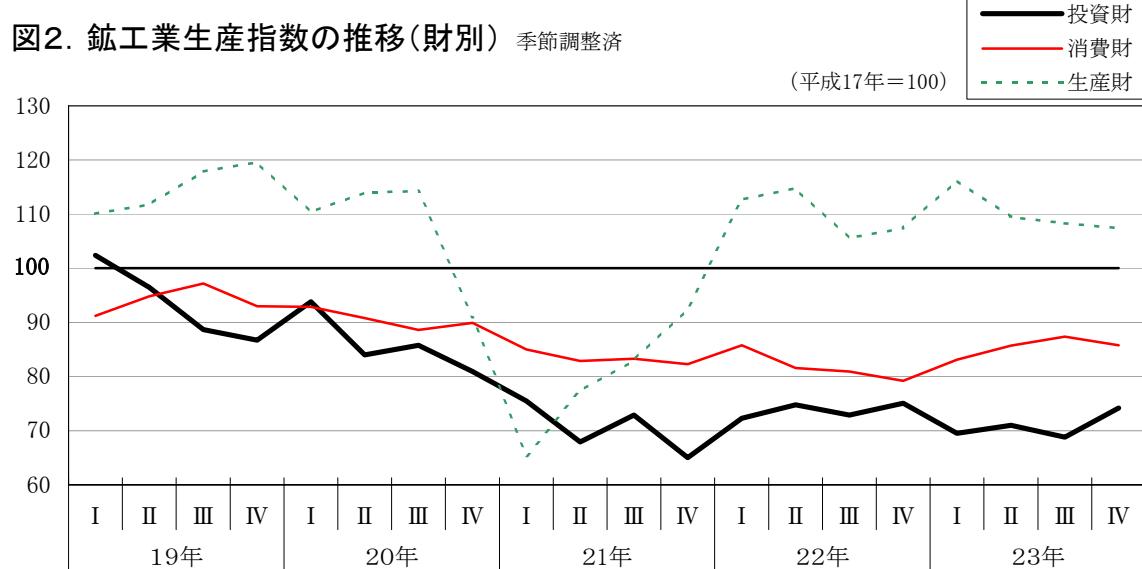
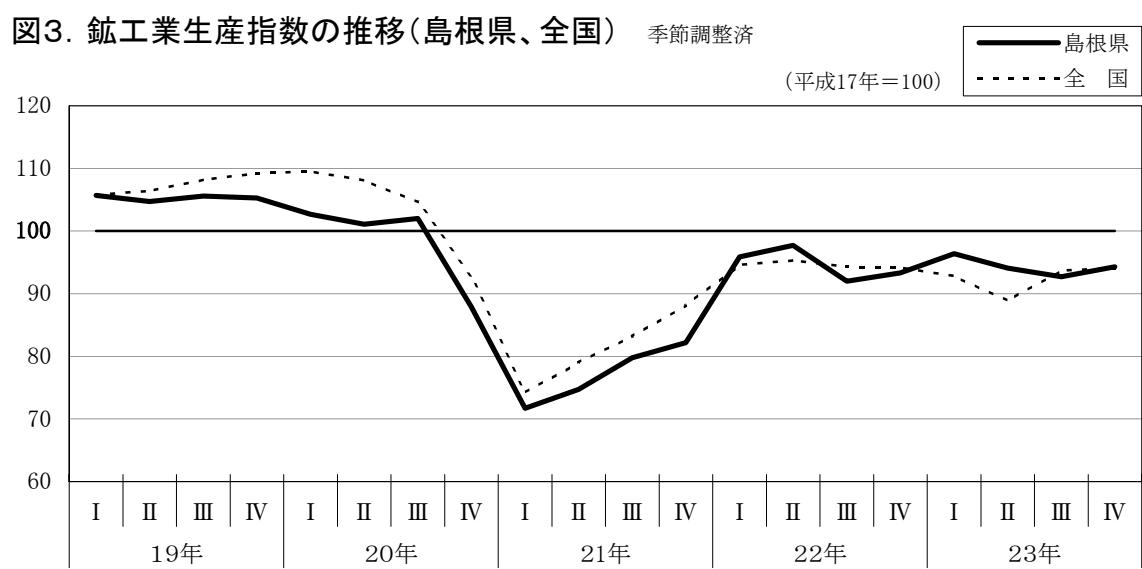


図3. 鉱工業生産指数の推移(島根県、全国) 季節調整済



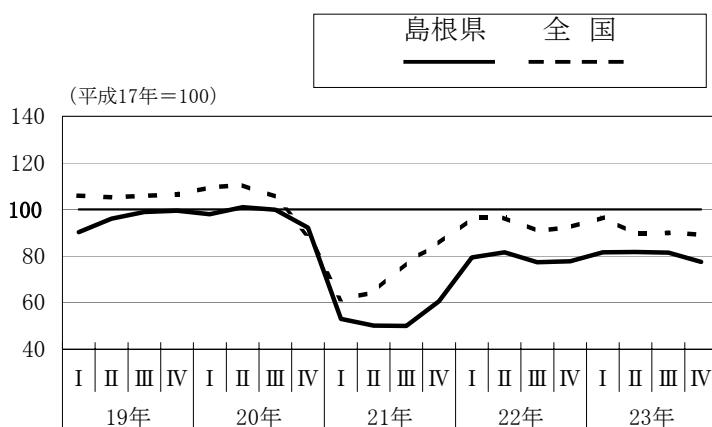
2. 業種別生産指数の動向

(年平均は原指標、四半期別は季節調整済)

<鉄鋼業>

鉄鋼業の生産指標は、年平均 80.4 となり、対前年比 2.0% の上昇であった。

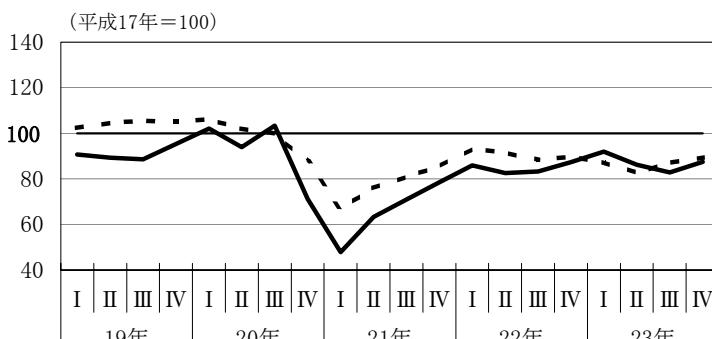
平成23年を四半期別にみると、1～3月期(I)、4～6月期(II)は上昇、7～9月期(III)、10～12月期(IV)は低下した。



<非鉄金属工業>

非鉄金属工業の生産指標は、年平均 87.0 となり、対前年比 2.4% の上昇であった。

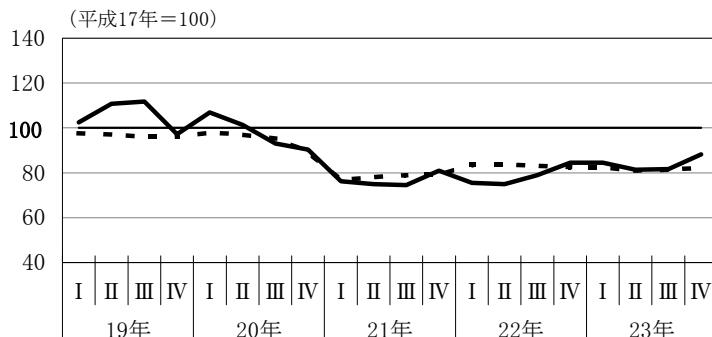
平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。



<金属製品工業>

金属製品工業の生産指標は、年平均 83.3 となり、対前年比 7.1% の上昇であった。

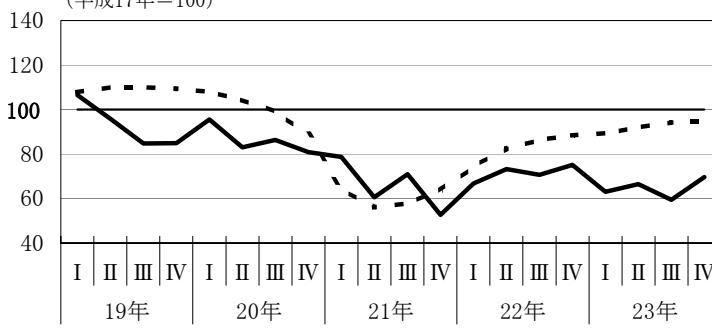
平成23年を四半期別にみると、1～3月期、4～6月期は低下、7～9月期、10～12月期は上昇した。



<一般機械工業>

一般機械工業の生産指標は、年平均 64.3 となり、対前年比 ▲10.2% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は低下、4～6月期は上昇、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。

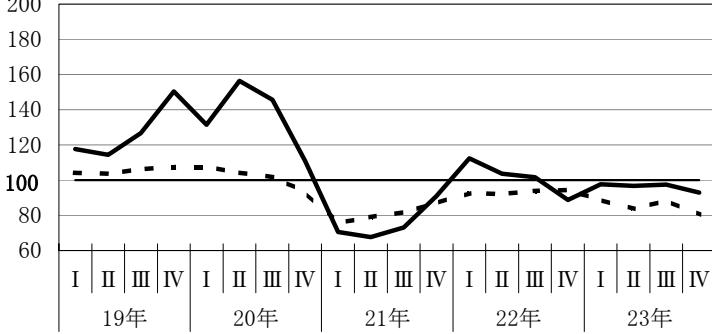


<電気機械・情報通信機械工業>

電気機械・情報通信機械工業の生産指標は、年平均 95.7 となり、対前年比 ▲5.1% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期は低下、7～9月期は上昇、10～12月期は低下した。

(全国値は、各月の電気機械工業と情報通信機械工業の季節調整済指標を加重平均で求め、四半期ごとの平均を算出した。)



<電子部品・デバイス工業>

電子部品・デバイス工業の生産指数は、年平均 164.5 となり、対前年比 3.7% の上昇であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。

<輸送機械工業>

輸送機械工業の生産指数は、年平均 108.6 となり、対前年比 ▲8.6% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期、4～6月期は低下、7～9月期は上昇、10～12月期は低下した。

(全国値は「輸送機械工業(除・船舶・鉄道車両)」である。)

<窯業・土石製品工業>

窯業・土石製品工業の生産指数は、年平均 61.1 となり、対前年比 ▲2.2% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は低下、4～6月期以降は3期連続して上昇した。

<化学工業>

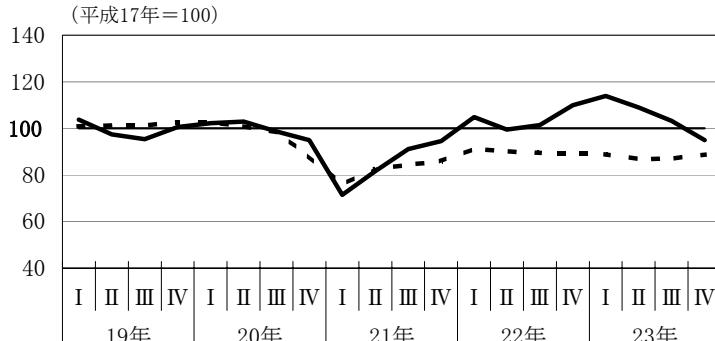
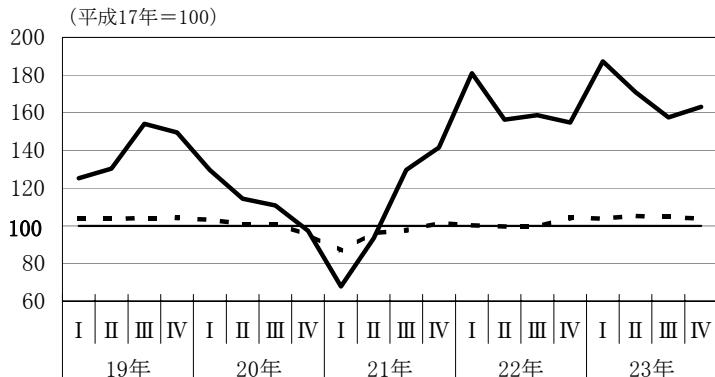
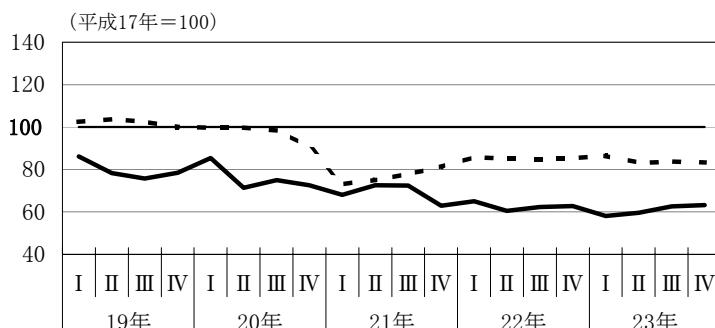
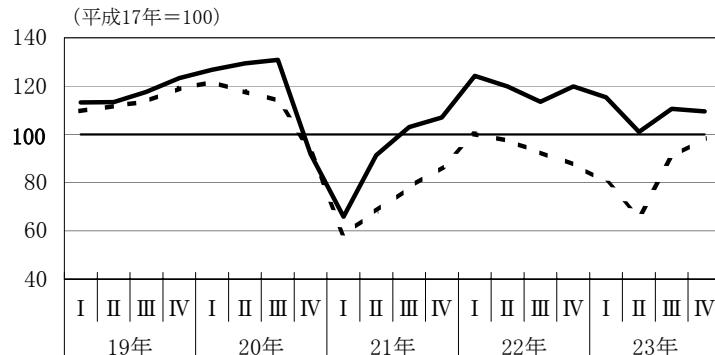
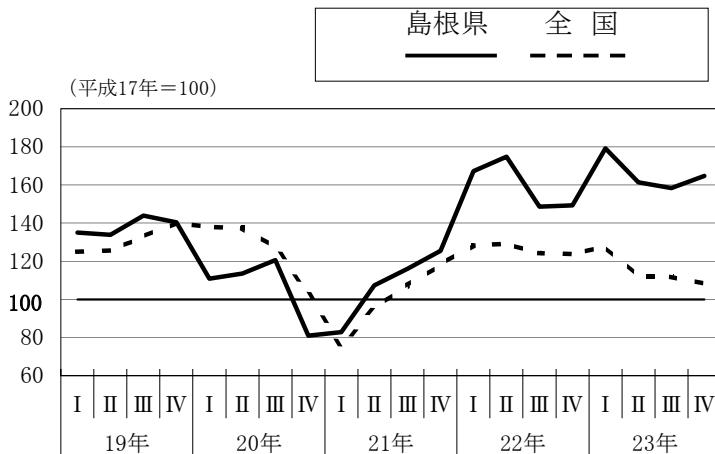
化学工業の生産指数は、年平均 167.9 となり、対前年比 4.7% の上昇であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。

<プラスチック製品工業>

プラスチック製品工業の生産指数は、年平均 105.0 となり、対前年比 1.3% の上昇であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期以降は3期連続して低下した。



<パルプ・紙・紙加工品工業>

パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は、年平均 73.4 となり、対前年比 ▲4.7% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期は低下、7～9月期は上昇、10～12月期は低下した。

<繊維工業>

繊維工業の生産指数は、年平均 80.3 となり、対前年比 3.2% の上昇であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下、10～12月期は上昇した。

<食料品・たばこ工業>

食料品・たばこ工業の生産指数は、年平均 82.1 となり、対前年比 3.8% の上昇であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期、4～6月期は上昇、7～9月期、10～12月期は低下した。

<その他工業>

その他工業の生産指数は、年平均 96.2 となり、対前年比 ▲0.8% の低下であった。

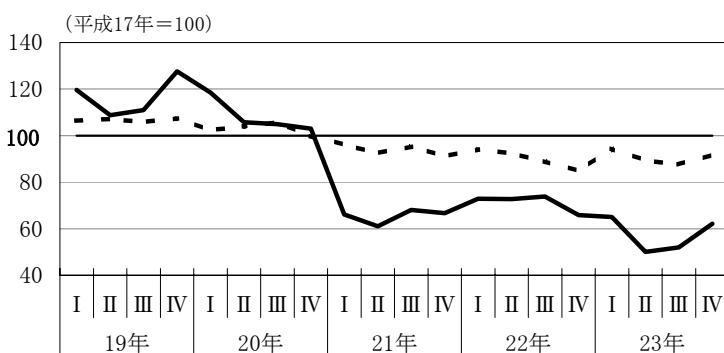
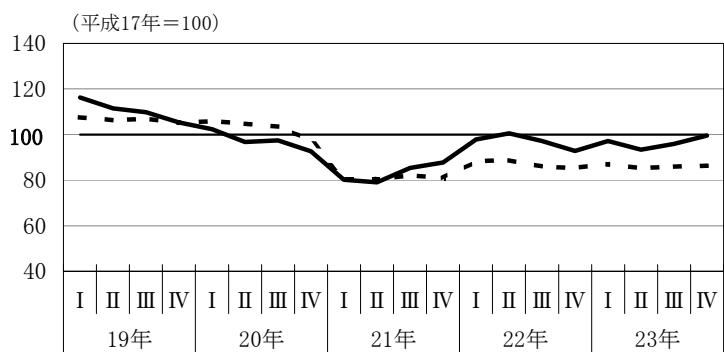
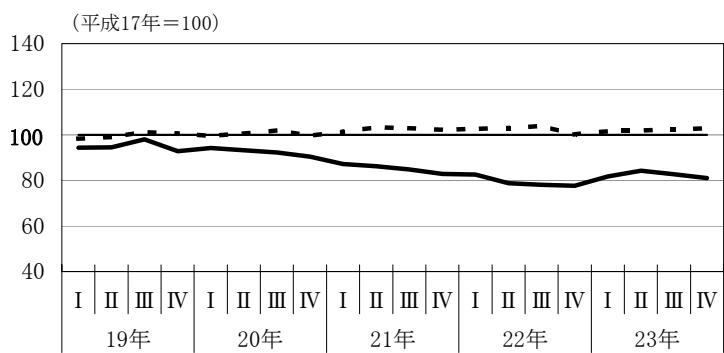
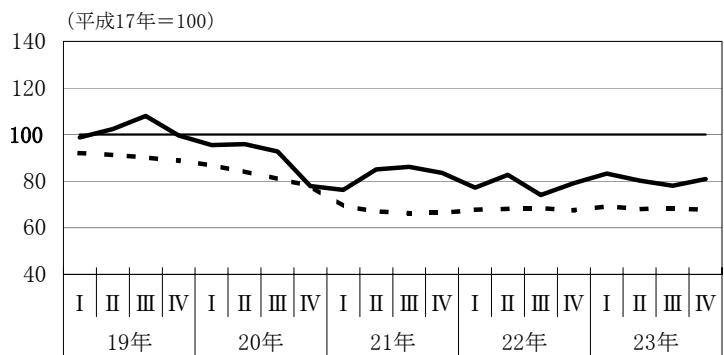
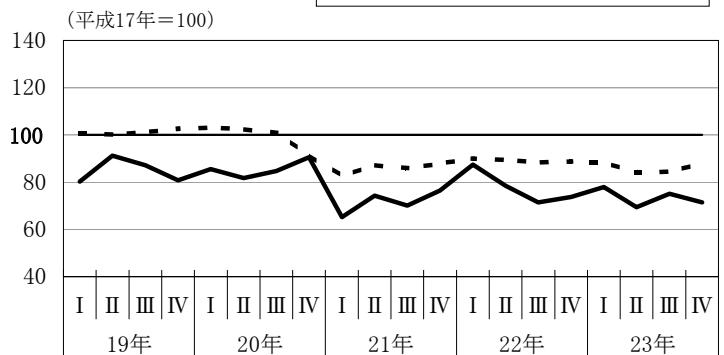
平成23年を四半期別にみると、1～3月期は上昇、4～6月期は低下、7～9月期、10～12月期は上昇した。

<鉱業>

鉱業の生産指数は、年平均 57.1 となり、対前年比 ▲19.6% の低下であった。

平成23年を四半期別にみると、1～3月期、4～6月期は低下、7～9月期、10～12月期は上昇した。

島根県 全国



統 計 表

第2表 島根県鉱工業生産指数

年・四半期	鉱工業												
		製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	一般機械工業	電気機械・情報通信機械工業	電子部品・デバイス工業	輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	
ウエイト		10,000.0	9,970.4	2,096.1	160.6	356.2	1,465.3	444.3	1,270.0	750.2	677.8	210.6	173.6
平成19年I期		105.7	105.6	90.3	90.7	102.5	106.5	117.7	135.0	113.2	86.2	125.3	103.7
	II	104.7	104.7	96.1	89.3	110.8	95.8	114.4	133.9	113.3	78.3	130.4	97.4
	III	105.6	105.6	98.9	88.6	111.7	84.7	126.8	144.0	117.6	75.8	154.2	95.3
	IV	105.3	105.3	99.5	95.3	97.2	84.9	150.3	140.4	123.3	78.4	149.6	100.6
平成20年I期		102.7	102.7	97.9	102.1	106.9	95.6	131.5	110.8	126.8	85.4	129.6	102.2
	II	101.1	101.1	101.0	94.0	101.3	83.0	156.3	113.6	129.4	71.4	114.4	102.9
	III	102.0	101.9	99.9	103.4	93.1	86.3	145.6	120.6	130.9	75.0	110.8	98.7
	IV	87.9	87.9	92.2	71.2	90.3	80.9	110.9	80.9	91.8	72.6	97.4	94.9
平成21年I期		71.7	71.6	53.0	47.9	76.2	78.7	70.6	82.9	65.9	68.1	67.9	71.5
	II	74.7	74.7	50.2	63.3	74.9	60.6	67.6	107.4	91.3	72.6	93.3	81.6
	III	79.8	79.8	50.0	70.9	74.5	71.0	73.1	116.0	103.0	72.4	129.7	91.1
	IV	82.2	82.3	60.6	78.5	81.0	52.7	90.9	125.5	107.0	63.0	141.6	94.6
平成22年I期		95.9	95.9	79.4	85.9	75.5	66.7	112.3	167.3	124.2	65.0	181.0	104.9
	II	97.7	97.7	81.6	82.6	75.0	73.2	103.6	174.9	119.9	60.5	156.4	99.5
	III	92.0	92.0	77.3	83.3	78.9	70.7	101.7	148.7	113.5	62.3	158.7	101.4
	IV	93.3	93.3	77.8	87.3	84.5	75.1	88.8	149.3	119.8	62.8	154.8	109.9
平成23年I期		96.4	96.5	81.6	92.0	84.5	63.0	97.7	179.2	115.3	58.1	187.2	113.9
	II	94.1	94.2	81.8	86.2	81.4	66.5	96.7	161.4	101.0	59.6	171.0	108.9
	III	92.7	92.7	81.5	82.9	81.6	59.4	97.4	158.4	110.5	62.6	157.5	103.2
	IV	94.3	94.3	77.5	87.5	88.2	69.6	92.9	164.8	109.5	63.3	163.1	95.0

(業種分類別季節調整済指数)

(平成17年=100)

											(参考系列)					
パルプ・紙・紙加工品工業	織維工業	食料品・たばこ工業	その他工業	ゴム製品工業				木材・木製品工業	石油・石炭製品工業	その他製品工業	鉱業	産業総合	公益事業(電力・ガス)	機械工業	電気機械工業(旧分類)	生産用機械工業(新分類)
				ゴム製品工業	家具工業	木材・木製品工業	石油・石炭製品工業									
163.0	448.2	910.9	843.6	106.2	197.7	466.3	24.2	49.2	29.6	13,581.4	3,581.4	3,929.8	1,714.3	1,222.3		
80.3	98.8	94.3	116.2	152.3	113.0	109.4	123.6	108.1	119.6	100.9	91.7	119.4	130.6	100.5		
91.2	102.3	94.5	111.5	150.1	100.7	108.5	85.2	113.8	108.8	105.9	105.8	114.0	128.4	87.9		
87.2	108.0	98.0	109.8	163.0	95.7	104.2	109.7	99.9	111.0	103.0	96.5	113.5	139.6	79.1		
80.8	99.6	92.8	105.3	168.2	83.6	102.6	98.1	88.8	127.6	106.4	109.7	117.7	143.3	80.3		
85.5	95.5	94.2	102.3	159.6	91.1	97.1	96.4	82.0	118.6	99.4	91.5	111.3	116.7	92.8		
81.8	95.9	93.3	96.7	153.8	75.5	94.3	98.5	75.1	105.7	98.4	89.2	109.9	124.1	80.5		
84.7	92.8	92.2	97.4	137.6	75.1	95.5	92.0	115.4	104.9	98.8	89.6	112.1	126.2	79.3		
90.5	77.9	90.4	92.7	106.5	79.8	97.1	93.2	81.9	103.0	84.5	75.4	86.1	89.1	77.3		
65.2	76.2	87.2	80.2	63.4	73.8	84.7	80.7	78.6	66.2	74.0	80.7	77.4	79.4	76.2		
74.3	85.1	86.2	79.1	93.2	58.7	81.8	89.2	89.7	61.0	83.6	110.6	82.4	96.9	48.8		
70.1	86.2	84.8	85.3	116.1	62.0	87.7	81.8	85.7	68.1	82.6	89.2	91.9	104.1	61.1		
76.4	83.5	82.9	87.8	136.1	61.7	89.4	85.3	80.9	66.7	87.8	105.0	92.3	119.2	43.4		
87.4	77.2	82.5	97.9	165.6	75.7	92.5	96.2	96.7	72.9	91.2	79.0	113.1	152.1	59.9		
78.5	82.7	78.8	100.5	153.9	89.7	94.9	96.0	74.2	72.8	85.2	47.4	118.7	155.7	63.9		
71.4	74.1	78.1	97.2	150.3	83.2	92.6	85.5	78.2	73.9	80.8	48.3	107.7	135.1	63.4		
73.8	79.2	77.7	92.8	156.8	76.2	90.3	79.6	73.7	65.9	84.2	62.5	109.8	137.5	69.4		
77.9	83.3	81.7	97.1	164.5	80.4	89.3	83.2	100.0	65.1	95.5	92.6	112.2	157.4	53.6		
69.4	80.3	84.2	93.4	137.4	79.1	90.0	78.0	91.3	50.0	92.5	89.6	108.6	145.1	61.1		
75.1	78.1	82.7	95.9	141.2	93.4	90.7	83.2	77.2	51.9	87.1	70.9	105.5	142.2	51.0		
71.4	81.0	81.0	99.6	152.0	92.8	91.9	100.3	81.1	62.2	92.6	89.9	110.8	146.5	64.3		

第3表 島根県鉱工業生産指数（財分類別原指數）

(平成17年=100)

年・月	鉱工業	最終需要財							生産財
			投資財	資本財	建設財	消費財	耐久消費財	非耐久消費財	
ウエイト	10,000.0	4,498.0	3,293.1	1,770.7	1,522.4	1,204.9	124.9	1,080.0	5,502.0
平成19年	105.2	93.5	93.4	94.0	92.7	93.9	104.6	92.6	114.8
平成20年	98.4	87.5	86.3	87.5	84.9	90.6	94.1	90.2	107.4
平成21年	77.3	73.8	70.3	67.4	73.7	83.4	77.9	84.0	80.2
平成22年	94.4	75.8	73.7	73.2	74.3	81.7	80.0	81.8	109.6
平成23年	94.0	74.6	70.7	66.6	75.4	85.3	73.8	86.7	109.8
平成19年 1月	93.1	82.6	83.5	88.7	77.5	80.2	95.6	78.4	101.6
2	102.7	97.7	102.7	109.3	95.1	83.8	117.9	79.8	106.7
3	114.9	115.4	120.9	125.3	115.7	100.3	134.9	96.3	114.5
4	104.5	94.4	95.8	97.1	94.2	90.8	109.3	88.6	112.7
5	98.7	87.3	86.1	85.8	86.4	90.4	99.5	89.4	108.1
6	105.4	95.1	98.0	98.4	97.6	87.3	98.3	86.0	113.9
7	108.3	96.6	98.1	95.6	101.1	92.5	96.4	92.0	117.9
8	98.7	84.4	83.3	90.4	75.2	87.4	97.7	86.2	110.4
9	105.9	87.2	87.1	87.8	86.3	87.7	94.5	87.0	121.2
10	110.2	87.6	83.1	76.3	91.0	100.1	100.5	100.0	128.7
11	113.1	96.8	92.1	88.0	96.9	109.5	98.2	110.8	126.5
12	107.2	97.2	90.3	85.8	95.5	116.2	112.9	116.6	115.4
平成20年 1月	94.7	84.4	83.6	84.4	82.5	86.7	112.1	83.8	103.1
2	103.5	98.6	103.0	104.8	100.8	86.6	100.6	84.9	107.6
3	107.1	103.3	105.7	116.1	93.5	97.0	117.8	94.5	110.2
4	104.2	86.9	85.8	80.7	91.7	90.0	109.9	87.7	118.3
5	94.2	77.6	75.1	75.3	74.8	84.4	84.9	84.3	107.8
6	99.9	82.8	82.9	88.9	75.9	82.5	86.4	82.0	114.0
7	110.1	93.4	96.3	101.4	90.4	85.3	88.3	84.9	123.8
8	90.7	74.1	72.7	77.2	67.4	78.1	92.5	76.4	104.3
9	104.2	88.2	90.1	97.2	81.8	83.1	81.9	83.2	117.2
10	101.3	84.6	79.9	72.4	88.6	97.4	70.9	100.5	115.0
11	86.4	83.1	76.3	69.1	84.6	101.8	84.5	103.8	89.0
12	85.0	92.6	84.5	82.7	86.5	114.7	99.1	116.5	78.9
平成21年 1月	66.2	76.1	75.4	84.7	64.7	77.8	78.1	77.7	58.1
2	66.3	75.5	75.8	77.7	73.6	74.5	79.5	73.9	58.8
3	72.8	84.3	81.5	80.9	82.3	91.9	103.4	90.6	63.4
4	73.7	68.6	64.0	59.6	69.2	80.9	91.0	79.7	77.9
5	67.3	64.0	59.6	54.5	65.4	76.3	63.4	77.8	70.0
6	77.0	71.3	69.7	63.3	77.1	75.9	72.1	76.3	81.6
7	86.2	82.7	84.4	85.7	82.9	78.3	66.2	79.7	89.1
8	73.2	65.9	63.0	63.0	63.0	73.9	77.0	73.5	79.1
9	86.6	76.9	75.3	79.1	70.8	81.3	74.7	82.0	94.5
10	85.7	68.3	60.7	43.0	81.4	88.8	71.3	90.9	100.0
11	87.1	73.3	64.9	54.3	77.3	96.2	60.5	100.3	98.4
12	85.9	78.7	69.2	63.2	76.2	104.7	97.6	105.5	91.8
平成22年 1月	81.6	66.9	62.2	62.1	62.3	80.0	114.3	76.0	93.5
2	89.9	76.2	75.6	75.7	75.5	77.9	101.6	75.2	101.1
3	103.2	90.7	91.3	94.6	87.3	89.1	104.7	87.3	113.4
4	95.5	73.7	72.0	65.8	79.3	78.3	95.0	76.3	113.2
5	89.3	66.6	63.8	66.6	60.6	74.3	71.1	74.7	107.8
6	99.6	75.7	76.0	78.1	73.7	74.9	85.4	73.7	119.1
7	99.2	75.1	73.9	72.6	75.4	78.2	71.5	79.0	119.0
8	86.2	67.3	65.9	68.9	62.4	71.0	65.8	71.6	101.7
9	99.6	81.4	83.1	89.2	76.1	76.6	69.5	77.4	114.5
10	93.5	73.6	70.7	64.4	78.1	81.6	55.8	84.6	109.7
11	97.1	82.2	76.8	72.1	82.3	96.8	58.5	101.2	109.2
12	98.6	80.4	72.9	67.9	78.7	101.1	67.3	105.0	113.4
平成23年 1月	86.7	65.8	62.3	59.5	65.5	75.4	70.6	76.0	103.7
2	92.7	73.2	71.7	67.3	76.9	77.4	64.0	79.0	108.6
3	99.5	85.1	83.3	83.0	83.6	89.9	80.1	91.0	111.5
4	93.5	71.4	67.6	62.0	74.2	81.8	76.0	82.4	111.7
5	87.8	66.3	61.9	64.7	58.6	78.4	63.8	80.1	105.3
6	95.3	75.2	73.6	70.1	77.7	79.5	66.4	81.0	111.8
7	94.2	72.9	69.6	63.6	76.5	81.9	62.9	84.1	111.6
8	91.0	69.0	65.4	64.7	66.3	78.7	77.0	78.9	109.0
9	99.1	76.5	73.6	70.5	77.3	84.5	78.0	85.3	117.6
10	96.6	73.6	68.0	56.8	81.0	88.9	62.1	92.0	115.4
11	96.0	82.8	77.0	69.2	86.1	98.6	69.3	102.0	106.7
12	95.4	83.5	74.1	68.3	80.9	109.1	115.8	108.3	105.2

第4表 島根県鉱工業生産指数（財分類別季節調整済指数）

(平成17年=100)

年・月	鉱工業	最終需要財							生産財	
			投資財	資本財	建設財	消費財	耐久消費財	非耐久消費財		
ウエイト		10,000.0	4,498.0	3,293.1	1,770.7	1,522.4	1,204.9	124.9	1,080.0	5,502.0
平成19年	1月	103.0	96.2	99.3	100.5	96.2	89.2	93.9	88.5	107.5
	2	108.1	102.9	105.4	116.9	96.7	92.5	112.7	90.3	111.8
	3	105.9	99.8	102.6	103.2	102.1	91.9	103.8	91.0	111.1
	4	105.4	96.3	97.2	99.4	92.8	94.5	103.7	93.3	111.1
	5	102.1	92.7	94.7	90.0	98.4	92.6	108.2	90.2	111.1
	6	106.7	97.4	97.5	99.6	94.3	97.4	103.5	96.7	113.1
	7	107.0	96.6	94.6	93.2	98.5	102.3	107.4	101.2	115.6
	8	105.4	91.0	88.1	89.8	87.2	98.5	102.1	98.2	117.7
	9	104.5	84.7	83.5	77.0	89.5	90.9	102.6	90.9	120.4
	10	106.6	87.5	84.1	85.9	84.6	95.0	107.4	93.0	123.4
	11	104.4	87.1	83.4	84.1	85.6	92.8	104.0	91.5	119.4
	12	104.9	92.3	92.7	92.2	88.8	91.3	108.2	89.5	115.9
平成20年	1月	104.3	96.4	95.2	92.4	100.9	94.7	111.2	93.6	110.9
	2	103.2	96.2	97.6	102.8	94.1	92.4	98.8	92.3	109.8
	3	100.7	89.4	88.7	93.0	85.7	91.7	93.9	91.7	110.5
	4	102.8	87.1	85.5	82.5	88.9	91.9	101.0	90.9	115.6
	5	100.3	85.3	84.2	83.0	85.7	89.1	94.4	88.3	112.9
	6	100.3	84.6	82.4	87.6	73.9	91.3	91.2	91.1	113.6
	7	106.2	90.2	89.7	93.3	85.0	91.1	93.7	89.8	117.7
	8	99.7	83.8	82.1	82.2	82.3	89.9	95.7	88.7	113.0
	9	100.0	84.6	85.5	86.1	83.0	84.7	87.7	85.4	112.1
	10	97.3	84.6	82.3	82.5	80.1	91.3	76.7	93.0	107.4
	11	85.0	81.4	77.4	73.5	80.3	90.0	93.0	89.1	88.0
	12	81.4	84.6	83.0	85.4	80.3	88.5	90.0	87.7	77.4
平成21年	1月	75.8	87.1	86.3	94.0	78.8	86.3	80.9	87.2	66.3
	2	70.1	75.3	72.1	72.4	72.2	83.1	81.9	84.4	64.9
	3	69.1	72.3	68.0	64.5	74.7	85.6	80.3	86.3	65.1
	4	73.7	70.1	65.2	63.5	67.8	83.1	81.2	83.1	77.6
	5	74.4	73.1	69.4	64.5	75.4	83.0	73.7	84.1	75.6
	6	76.0	72.4	69.1	62.4	74.3	82.5	75.8	83.0	78.8
	7	79.0	76.7	75.9	78.1	75.6	82.5	69.9	83.1	80.2
	8	79.5	74.8	71.4	67.0	76.9	84.3	78.8	84.6	83.1
	9	80.8	74.2	71.4	67.8	72.4	83.1	79.4	84.4	85.8
	10	81.0	69.3	63.2	50.3	73.4	82.9	76.1	83.9	89.9
	11	83.3	70.9	65.8	59.7	72.6	83.0	66.5	84.1	94.9
	12	82.4	70.4	66.1	62.7	70.1	81.0	84.4	80.3	92.7
平成22年	1月	95.9	75.8	71.4	69.2	75.9	89.1	114.4	85.4	109.7
	2	95.1	75.0	71.2	69.2	74.5	86.1	99.2	84.8	113.2
	3	96.8	76.4	74.4	72.5	76.9	82.2	82.8	81.9	115.3
	4	95.7	76.5	74.2	71.9	76.0	81.2	84.4	80.6	113.4
	5	99.9	77.3	75.3	76.6	72.4	82.0	81.4	82.0	117.2
	6	97.4	76.8	75.0	75.7	71.8	81.7	89.2	80.7	113.7
	7	92.7	71.3	68.2	67.2	71.6	83.3	79.1	83.7	109.7
	8	91.4	75.2	73.5	72.7	74.3	79.7	67.9	81.0	104.2
	9	91.8	78.0	77.0	75.5	76.8	79.7	74.0	80.8	102.8
	10	92.3	77.9	77.4	77.4	74.6	78.1	64.7	80.5	103.2
	11	93.1	78.5	77.3	78.6	76.0	81.9	60.2	82.7	105.2
	12	94.4	72.8	70.6	69.1	73.8	77.7	58.4	80.1	113.8
平成23年	1月	98.1	73.2	70.7	68.4	75.5	82.9	68.0	84.2	117.0
	2	97.1	72.8	68.9	63.5	75.8	83.5	62.7	87.3	118.8
	3	94.0	72.6	69.0	65.0	73.6	82.9	63.6	85.3	112.8
	4	94.8	75.2	70.6	69.6	73.0	85.6	67.1	88.0	112.5
	5	94.6	74.6	70.7	69.1	69.6	85.1	71.9	86.6	109.8
	6	92.9	75.7	71.8	66.6	76.1	86.5	69.5	88.7	106.2
	7	90.5	73.4	68.5	63.2	75.3	87.5	71.7	89.5	105.6
	8	94.9	74.7	70.2	65.5	76.6	87.2	75.1	88.3	110.6
	9	92.7	72.9	67.8	59.1	77.7	87.5	80.8	88.6	108.6
	10	95.9	76.5	72.4	67.4	77.6	86.0	76.0	87.5	110.3
	11	93.2	77.8	75.6	73.0	78.8	84.7	77.2	84.1	104.7
	12	93.7	78.3	74.7	71.7	78.2	86.6	104.4	85.5	107.2

◎ 参考 ◎ 全国指数と地域別指数の関係

経済産業局が作成している指数と、管内都府県の指数を総合したものが一致するとは限りません。また、全都道府県を総合した指数、または経済産業局別指数の総合指数が全国の指数に完全に一致するとも限りません。

その第1の理由は、採用品目がそれぞれの地域の特性にあわせて選定されているためです。全国指数は、国全体の生産活動を代表するといった観点から品目が選ばれているのに対して、地域別指数は、それぞれの地域の生産活動を代表する品目が選ばれています。全国ではウェイトの大きな品目であっても、地域において構成比が小さければ、その地域の指数には採用されません。逆に、全国指数で非採用であっても、地場産業などで、その地域の重要品目は採用して指数の動きに反映させなければなりません。

第2の理由は、ウェイトの非整合性です。基礎データの工業統計調査は地域別の合計が全国数値になっているのですが、指数では採用品目の代表する範囲が地域によって異なっているため、ウェイト算定の際の膨らましの方法などが整合的ではありません。それぞれの地域の指数は、当該地域の活動を最も的確に反映させるため、地域の経済的特性に適応するように設計されているのです。

とはいいうものの、それぞれの地域の指数がそれぞれの地域における生産活動を適切に表わしているのですから、地域別指数を全国に総合した結果と全国指数との非整合の程度はそれほど大きいわけではありません。

この冊子の内容についての問い合わせは、下記あて
に御連絡ください。

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
島根県政策企画局統計調査課
TEL (0852) 22-5073 FAX (0852) 22-6044
しまね統計情報データベース URL
<http://pref.shimane-toukei.jp/>